



## 体験ルームができました

浜松市楽器博物館は、ただいま展示室リニューアル工事の真っ最中です。開館から10年が経ち、90万人を超える多くの来館者をお迎えしました。来館者のみなさんからは、とても楽しかったというお言葉とともに、こうすればもっと楽しくわかりやすくなるよ、というご意見も頂戴しています。

今回の展示室リニューアルは、そんなみなさんからの声が目元になっています。来館者のみなさんに、もっと楽器と親しくなってもらうために、今まで以上にわかりやすく楽しめる展示となる予定です。全展示室完成は、今年の3月20日。翌21日にオープン予定です。今しばらくご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解ください。

みなさんからいただくご意見の中で、最も多いのが「楽器に触ってみたい」というものです。展示してある約1,000点の楽器は、歴史的にとっても価値があるものだったり、世界のさまざまな民族がとても大切にしているものだったり、どれもとても貴重なもので残念ながらみなさんに触れていただくことはできません。しかし、みなさんのご意見に応えたいとの思いから、3月の完成に先駆けて昨年11月1日に、新しく体験ルームが誕生し、仮オープンしました。

体験ルームの構成は、大きく2つのゾーンに分かれています。

一つは「おととあそぼう」ゾーン。自然の風景がかわいらしく描かれている壁画には、いろんな音が隠れています。風が吹く音、雨が降る音、小川のせせらぎ、かえるや小鳥の鳴き声などなど、小物打楽器や竹で作った音の出る道具で、そんな音を楽器で創作する楽

しみが味わえます。他にもパネやステンレスのボウルなどで作った金属製の楽器(?)で宇宙の音にも挑戦(宇宙空間で音は聞えないかもしれませんが…)。金属の不思議な響きは、宇宙にきらめく星や、宇宙を飛び交ういろいろな物体(もしかしたら宇宙船も)のイメージにぴったり。ぜひお試しください。

もう一つは「世界の楽器でコミュニケーション」ゾーン。人類が楽器という道具を持つようになったのはなぜでしょうか。自分の気持ちを相手に伝えたい、相手の本当の気持ちを知りたい、そんな思いが楽器を生み出したという説があります。確かに、世界中のあらゆる場所に住む人たちが楽器を使っています。ただ楽しむだけでなく、家族、友だち、身近な人たちとのつながりをより強くするために、楽器を使ってお互いにコミュニケーションをして、貧しいながらも楽器があることで豊かな気持ちで暮らしている人々がいます。私たちは、楽器が持つコミュニケーションの力を、みなさんにも感じていただきたいと思い、このゾーンを作りました。

11月のオープン以来、子供たちは体験ルームでおおはしゃぎで楽しんでいます。楽しみながら、音の楽しさや不思議さ、それから自分の心に芽生えた相手を想う気持ちを持ち帰ってもらうのが私たちの願いです。





# 舞阪小・佐久間小で移動楽器博物館を開催



浜松市内の小学校を巡回する移動楽器博物館「わくわく楽器ランド」。新浜松市になり、より多くの

子どもたちと出会えるようになりました。

11/28から12/1には舞阪小学校を訪問しました。モンゴルの馬頭琴の紹介では、子どもたちは「スーホの白い馬」の物語に思いをめぐらせ、実物を手に取って感激した様子でした。昼休みや放課後の自由時間には、ほかの学年の児童と一緒に仲良く楽器を体験する子どもたちの姿が見られました。

12/13・14には佐久間小学校を訪問。雪が舞う寒さの中でも子どもたちは元気いっぱい。少人数ならではのアットホームな雰囲気の中で、楽器を囲んでみんなで楽しくお話をしました。

これからも、遠方の小学校へ積極的に訪問していきたいと考えています。なかなか来館できない地域の学校の先生や子どもたちにも楽器の楽しさを知ってもらい、親しみきっかけにしていただければと思います。今年度中は、北浜小学校・田沢小学校・西気賀小学校に何う予定です。

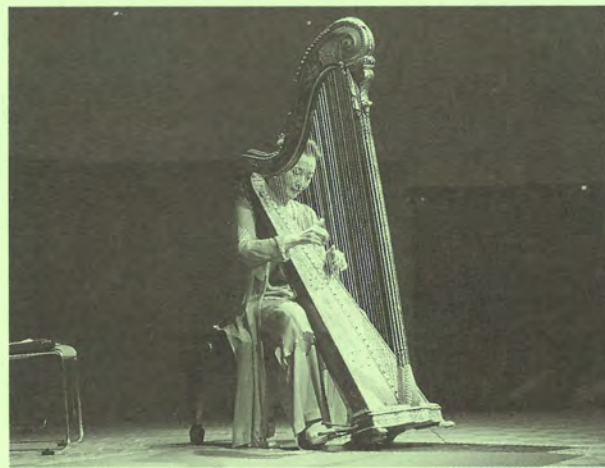


# チェンバロ、ナーデルマン・ハープ、カンテレのレクチャーコンサート



**第59回** イギリスのチェンバロ音楽  
～カークマン・チェンバロとスピネット～  
日時：平成17年10月2日(日)14:00～16:00  
場所：アクトシティ浜松音楽工房ホール  
演奏とお話：中野振一郎（チェンバロ）

イギリスの名工カークマン作の「チェンバロ」。イギリスで特に人気のあった小型のチェンバロ「スピネット」。当館所蔵の名器を使って、17・18世紀イギリスのチェンバロ音楽のコンサートが開かれました。演奏はチェンバロ奏者の中野振一郎さん。イギリスで活躍した音楽家として名高いヘンデルの代表作「調子の良い鍛冶屋」を始め、イギリス生まれのチェンバロ作品が奏されました。中野さんの繊細かつ優美な演奏とユーモアあふれるお話に、笑顔の耐えない魅力溢れるコンサートとなりました。



**第60回** マリー・アントワネットの愛した楽器  
～ナーデルマン・ハープ～  
日時：平成17年11月12日(土)14:00～16:00  
場所：アクトシティ浜松音楽工房ホール  
演奏とお話：神藤雅子

（ナーデルマン・ハープ）

ナーデルマン・ハープは、18世紀フランスの宮廷文化に華をさかせ、その衰退に合わせるかのように散っていった楽器です。マリー・アントワネット王妃も愛好したというその楽器は粋を極めた優美な姿と共に、深々とした低音、鈴のような高音の響きをもちます。コンサートでは、外観もメカニズムもオリジナルの250年前の貴重な楽器を使用し、18世紀フランス宮廷の典雅な香りを感じていただきました。





第61回 北欧のクリスマス～フィンランドのカンテレ  
 日時：平成17年12月11日(日)14:00～16:00  
 場所：アクトシティ浜松音楽工房ホール  
 演奏とお話：はざた雅子、佐野純子(カンテレ)

森と湖の国、フィンランドに古くから伝わる楽器「カンテレ」のレクチャーコンサートが、12月11日(日)音楽工房ホールで開かれました。カンテレは、台形の木箱に張られた弦を指先ではじく楽器で、フィンランドでは国民楽器として親しまれています。

このコンサートでは、はざた雅子さんが、フィンランドの美しい自然のお話などを交えながら、フィンランド民謡や日本歌曲、クリスマスメドレーなどを、佐野純子さんとともに演奏して下さいました。雪の結晶をイメージしたような透き通った音色が会場を包み込み、静かなクリスマスコンサートを楽しまれました。

## バリ・ガムランとチャングを楽しんだワークショップ



「バリ・ガムラン(入門編)」ワークショップ  
 入門編：平成17年11月13日(日)Aコース13:00～14:45  
 Bコース15:15～17:00

場所：楽器博物館展示室

講師：皆川厚一(神田外語大学講師)

ガムラン演奏家の皆川厚一さんを講師にお招きして、毎年恒例となった、人気の高いガムラン演奏体験ワークショップが開催されました。

このワークショップでは、楽譜を使わず、皆川先生が模範演奏をしながら、一人一人丁寧に指導して下さいました。参加者は、初めて耳にする旋律や、バリ・ガムランの素早いリズムに最初はとまどいながらも、練習を重ねるうちにスムーズに演奏ができるようになりました。受講者同士でも教え合う光景が見られ、気持ちを一つに楽しく合奏しました。



「チャング(入門編・中級編)」ワークショップ  
 入門編：平成17年11月20日(日)Aコース13:00～14:30  
 Bコース15:00～16:30

中級編：平成17年12月18日(日)13:00～17:00

場所：アクトシティ浜松研修交流センター

講師：イ・チャンソプ(チャング演奏家)

朝鮮民族の代表的な楽器チャングは2つのパチ(竹の棒：ヨルチェ、球付きの棒：クングルチェ)を使って演奏します。ヨルチェは愛する人の頬に触れるように、クングルチェは蟬叩きのように、とのご指導のもと、入門では、ドン・クン・タ(3種類の音)の叩き方を体験。慣れてきた所で「起・承・結・解(韓国の音楽の構成)」でドラマティックに演奏しました。中級では、チャングにケンガリ、プク、チンという打楽器も加えてサムルノリのアンサンブルに挑戦。華麗でしなやかで力強い韓国のリズムを楽しむことができました。

## 講座「19世紀の管楽器」

日時：平成17年11月6日(日)14:00～16:00

場所：アクトシティ浜松研修交流センター

講師：佐伯茂樹(管楽器研究家)

管楽器研究家の佐伯茂樹さんを迎え、西洋の管楽器の変遷や文化に焦点を当てた講座を開催しました。19世紀は管楽器が大きく変化した時期であり、トランペットやフルートもこの頃に現在のようになりなりました。しかしながら、一方で姿を消してしまった管楽器もあります。

これらの管楽器は、どれも作曲者のイメージをより具現化するために創作されたもので、現代の楽器では残念ながら忘れられた、魅力的な音色を表現できるものもありました。講座では貴重な資料と最新の研究を交え、知られざる19世紀の管楽器について深く探求することができました。





## 5回連続講座「19世紀のピアノと社会」

第3回 平成17年9月22日(木)

第4回 平成17年10月27日(木)

第5回 平成17年11月22日(火)

各回 19:00 楽器博物館展示室

コーディネーター:小岩信治(静岡文化芸術大学講師)



第3回ゲストは渡辺裕さん。豊かな家庭の象徴であるピアノ、ピアノを嗜む良家の子女などを背景に、家庭におけるピアノ文化史を。第4回ゲストは平野昭さん。ベートーヴェンの「編曲もの」を題材に、より自由に身近に音楽を楽しんでいた19世紀を。第5回ゲストは角野裕さん。角野先生の情感豊かなピアノ演奏により、感性と観性を磨くエチュードの在り方を再認識し、教育におけるピアノ文化史を一味違った19世紀のピアノと、それを取り巻く社会を、様々な視点から概観することができました。

### ◆博物館日誌

- 9/22(木) 講座「19世紀のピアノと社会」第3回「ピアノ文化観察学」  
19:00 展示室 参加40名  
コーディネーター:小岩信治(静岡文化芸術大学講師)  
ゲスト:渡辺裕(東京大学教授)
- 9/24(土) 講座「楽器の中の聖と俗」第33回「宗廟大祭の響きー韓国ソウルー」  
14:00 研修交流センター401会議室 参加38名  
講師:西岡信雄(大阪音楽大学学長、浜松市楽器博物館名誉館長)
- 9/27(火)~9/30(金) 移動楽器博物館(浜松市立城北小学校)
- 10/2(日) レクチャーコンサート「イギリスのチェンバロ音楽ーカークマン・チェンバロとスピネットー」  
14:00 アクティシティ浜松音楽工房ホール  
演奏:中野振一郎 入場者144名
- 10/18(火)~10/21(金)、10/24(月)  
移動楽器博物館(浜松市立広沢小学校)
- 10/22(土) 講座「楽器の中の聖と俗」第34回「東巴文化の音風景ー中国雲南省麗江ー」  
14:00 研修交流センター401会議室 参加33名  
講師:西岡信雄(大阪音楽大学学長、浜松市楽器博物館名誉館長)
- 10/27(木) 講座「19世紀のピアノと社会」  
第4回「編曲もの」と19世紀ピアノ文化ーベートーヴェンの作品を中心にー」19:00 展示室 参加47名  
コーディネーター:小岩信治(静岡文化芸術大学講師)  
ゲスト:平野昭(静岡文化芸術大学教授)
- 11/3(木) 「文化の日」による無料開放 入場者1,168名
- 11/6(日) 講座「19世紀の管楽器」  
14:00 研修交流センター401会議室 参加22名  
講師:佐伯茂樹(管楽器研究家)
- 11/12(土) レクチャーコンサート「マリー・アントワネットの愛した楽器ーナーデルマン・ハーブー」  
14:00 アクティシティ浜松音楽工房ホール  
演奏:神藤雅子 入場者197名
- 11/13(日) 「バリ・ガムラン」ワークショップ(入門編)  
13:00、15:15 参加31名  
講師:皆川厚一(神田外語大学講師)
- 11/20(日) 「チャンゴ」ワークショップ(入門編)  
13:00、15:00 参加15名  
講師:イ・チャンソプ(チャンゴ演奏家)
- 11/22(火) 講座「19世紀のピアノと社会」  
第5回「現代のピアニストと19世紀のピアノ文化」  
19:00 展示室 参加47名  
コーディネーター:小岩信治(静岡文化芸術大学講師)  
ゲスト:角野裕(東京芸術大学教授)
- 11/28(月)~12/1(木) 移動楽器博物館(浜松市立舞阪小学校)
- 12/11(日) レクチャーコンサート「北欧のクリスマスーフィンランドのカンテレー」14:00 アクティシティ浜松音楽工房ホール  
演奏:はざた雅子、佐野純子 入場者206名
- 12/13(火)、12/14(水) 移動楽器博物館(浜松市立佐久間小学校)
- 12/18(日) 「チャンゴ」ワークショップ(中級編)  
13:00~17:00 参加9名  
講師:イ・チャンソプ(チャンゴ演奏家)

## 講座「楽器の中の聖と俗」

第33回 平成17年9月24日(土)

第34回 平成17年10月22日(土)

各回 14:00 アクティシティ浜松研修交流センター

講師:西岡信雄

(大阪音楽大学学長、浜松市楽器博物館名誉館長)  
大阪音楽大学学長の西岡信雄先生による、毎年恒例の講座。第33回「宗廟大祭の響きー韓国ソウルー」、第34回「東巴文化の音風景ー中国雲南省麗江ー」をテーマにお話をいただきました。西岡先生が取材されたビデオや、そこで使われているユニークな楽器を見ながら、はるか昔から現代まで守られてきた貴重な文化にふれることができました。



### ◆これからの催し物

- ギャラリートーク 毎日曜日  
展示室ガイドツアー 展示品の解説  
ミニコンサート 学芸員やゲストによる演奏  
※内容・時間はお問い合わせ下さい。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日10:00~16:00  
1時間毎 チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- レクチャーコンサート  
「優しさのアイランドーアイリッシュ・フルートとハーブー」  
1/4(土) 14:00 アクティシティ浜松音楽工房ホール  
演奏:守安功(アイリッシュ・フルート他)  
守安雅子(アイリッシュ・ハーブ他)
- 特別レクチャーコンサート  
「ショパンのアンサンブルを、19世紀のサロンの響きで」  
2/26(日) 14:00(13:15~プレトーク)  
アクティシティ浜松音楽工房ホール  
演奏:小倉貴久子(フォルテピアノ)、桐山建志(ヴァイオリン)、花崎薫(チェロ)、白井圭(ヴァイオリン)、長岡聡季(ヴィオラ)、小室昌広(コントラバス)  
お話:小岩信治(静岡文化芸術大学講師)
- 講座「楽器の中の聖と俗」  
第35回 1/21(土) 14:00  
「黎族のバンブーダンスー中国海南島ー」  
アクティシティ浜松研修交流センター  
講師:西岡信雄(大阪音楽大学学長、浜松市楽器博物館名誉館長)
- 世界の楽器体験ワークショップ  
「長唄三味線」  
1/22(日) Aコース 13:15 Bコース 15:00  
アクティシティ浜松研修交流センター  
講師:杵屋邦寿、松永鉄九郎  
「ジャワ・ガムラン」  
2/4(土) 中級 Aコース 10:30  
2/5(日) 中級 Bコース 10:00  
2/11(土) 入門 Aコース 10:00 Bコース 14:00  
講師:風間純子(中京女子大学助教授)

#### 全館休館のお知らせ

楽器博物館は現在リニューアル工事をしています。完成オープンは平成18年3月21日(火)です。そのため平成18年2月13日(月)から3月20日(月)まで全館休館します。

### ◆9月~11月の観覧者数

	9月	10月	11月	3ヶ月の合計	開館からの累計
大人	4,338	5,104	5,055	14,497	686,116
中人	43	360	194	597	27,343
小人	590	1,390	1,500	3,480	153,233
幼児	218	177	252	647	41,369
計	5,189	7,031	7,001	19,221	908,061

### 利 用 案 内

開館時間:午前9:30~午後5:00

休館日:毎月第2水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、その他施設点検等のための臨時休館日

常設展観覧料:個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)

大人(大学生以上) 400円 320円 240円

中人(高校生) 200円 160円 120円

※中学生以下、高齢者(70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。

館内には、手荷物の持ち込みはできません。

### 浜松市楽器博物館だより

平成18年1月1日発行 No.42

編集 浜松市楽器博物館

〒430-7790 静岡県浜松市板屋町108-1

T E L. 053-451-1128

F A X. 053-451-1129

URL: <http://www.actcity.jp/gakki/>

MAIL: [gakki@actcity.jp](mailto:gakki@actcity.jp)

印刷 株式会社シバプリント